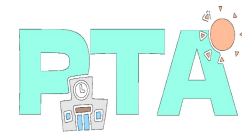




発行：自由ヶ丘地区
コミュニティ運営協議会
住所：自由ヶ丘3-12-11
TEL：32-5594 FAX：35-3250
メール：jiyugaoka-cc@oboe.ocn.ne.jp
http://www.jiyugaoka-cc.com/

自由ヶ丘人口調査
【令和7年12月31日現在】
世帯数 6,418世帯
人口 14,422人
男性 6,836人
女性 7,586人



自由ヶ丘小 おやじの会

おやじの会では、各イベント（なか森フェスタ、中学校文化祭、自由ヶ丘文化まつり）などで自由ヶ丘のソウルフードの「やきそば」を販売提供しています。また、イベントでの手伝い（運動会などでのテント組立・片付け、交通誘導）、なか森の整備など様々な場面で活躍しています。**おやじの会のモットーは【自由尊重・家族優先・楽観主義】**参加したい時に参加するスタイルです。そんなおやじの会で長年活動されている荒木慶行さんが九州ブロックのPTAで表彰されました！**きらりと輝く九州人大賞**。PTAの振興発展に貢献し、その功績が顕著であり、模範となる者として、その活動実績が認められました。**おやじの会の活動は、PTAと地域が手を取り合って、地域が抱える問題を解決するための原動力**となっています。これからも、子どもたちに、頼れるおやじの背中を見せてください！



自由ヶ丘1区会 ながら防災

○秋祭り（10月4日）
ステージ企画として、防災O×クイズを行いました。数々の難問に正解したみなさんに、防災に関する景品をプレゼントしました。また、2丁目子ども会の協力をいただき、被災時など水を控えたい時に役立つ食品ラップを活用したカレーの提供を行いました。

○ふれあい餅つき大会（12月7日）
餅つき大会に初めて受付を設け、避難所に避難した時に書き込む避難者カードを活用して、受付体験を行いました。また、1区会に保管している防災グッズを展示して、実際に触れてもらう取り組みを行いました。



青葉台1区会

青葉台1丁目公民館を、毎月0のつく日に開放しています。何かイベントがあるかもしれない、何か始まるかもしれない、誰かに会えるかもしれない、何か楽しいことがあるかもしれない…そんな「…かもしれない」が詰まった公民館開放も1年以上が経ち、地域の方が寄り合っておしゃべりしたり、趣味の時間を過ごしたり、子どもたちが遊びに来てくれたり、宿題をしたり。静かに佇んでいた公民館に元気powerが注入されて、ワクワクが生まれています。この活動には、基本的に民生委員が常駐しています。そして、そこに集まった人同士でボランティアをしてくれます。

《おたがいさま》の温かい気持ちで活動は継続されています。

公民館のあるべき姿がそこにあります！

公民館



自由ヶ丘2区会 防災訓練

11月1日（土）の防災訓練では、地震発生時の緊急連絡網の確認と避難訓練を行いました。全戸対象の情報伝達の確認、避難場所での受入訓練、避難行動要支援者の安否確認および避難実施訓練【福祉委員などの誘導による徒歩避難・車イスによる搬送（模擬）・担架による搬送（模擬）】など、**実際の状況に即した訓練**となりました。避難後は消防本部の講習を受けました。災害多発の昨今です。自治会の重点課題として、今後もこのような活動に取り組んでいきます！

各地域の活動で自由ヶ丘を盛り上げる



青葉台2区会

青葉台1丁目の公民館開放をヒントに、青葉台2区会も始めました。その名も《ホットステーション》公民館の存在意義と本来の役割に立ち返り、みんなの活動拠点になるように、自治会、青葉会（高齢者の会）、子ども会が手を取り合って活動を開始。無理のないよう月1回開催から始めました。基本内容は、カフェ（グランマカフェ）のオープン。誰でも気軽にコーヒーを飲みながらのおしゃべり。夏休みや冬休みは、子ども中心のイベント（ピザやクッキーづくり）を開催。公民館に笑い声が響くと、公民館が喜んでいきます。この先、災害時の一時避難場所として開設することも視野に入れながら、**公民館の存在価値を見出し、住民のみなさんと共通理解していけたら、地域にとってのベース（安心基地）**になると思います。



民生委員・児童委員 改選

私たちは、地域の身近な相談役です！

松尾 明夫（西町）	宮林 孝仁（自⑥）	森山 ちず子（自⑩）	中西 保（自⑪）	田代 めぐみ（自①）	神田 えみ子（自③）	中島 光子（自④）	（主任児童委員）	小橋 由紀子	堤 万里子（青①）	増田 保子（自⑥）
吉田 徳一（自①）	河野 健一（自②）	山田 和子（自③）	塚本 訓康（青②）	逸見 清美（自④）	徳永 幸美（自⑧）	梅崎 尊子（自⑨）	倉 宇子（自⑩）			

シリーズ企画 コミュニティスクール... そもその話 NO.7

12月5日（金）、昨年に続き青葉台中央公園がお祭り会場に！自由ヶ丘南小学校の5・6年生が地域を盛り上げるイベントを開催してくれました。その名も【JNF（自由ヶ丘仲良しフェスティバル）】青葉台まつりが開催されていたのがなくなり、子どもたちがワイワイ遊んでにぎわっていた公園も、人のつながりが減り、寂しくなっていたところ…そんな状況に自由ヶ丘南小の子どもたちが元気と笑顔を連れてきてくれました。6年生を中心にくじ引きやビンゴ大会、出店など、子どもたちのアイデアで青葉台中央公園はHOT HOT！5年生が考えた宗像のふるさと弁当の販売はあっという間に完売。イルミネーションの点灯でさらに、盛り上がりマックス！人が集まる→盛り上がる→温かくなる→笑顔になる…地域活性の方程式ですね。参加していた大人たちは、子どもたちの活躍に「大人もかててほしい〜」「人が集まるってこんなに素敵なんだね〜」「大人もできることやろうよ〜」なんて声が上がっていました。子どもたちから、まちの盛り上げ方の基本を学べた気がしました。子どもたちも大人と一緒にまちづくりに必要なものは何かしっかり考え、できることを実践してくれています。まさに「自ら学ぶ姿 主体的な学び」です。コミュニティスクールの成果がしっかりと表れています。

